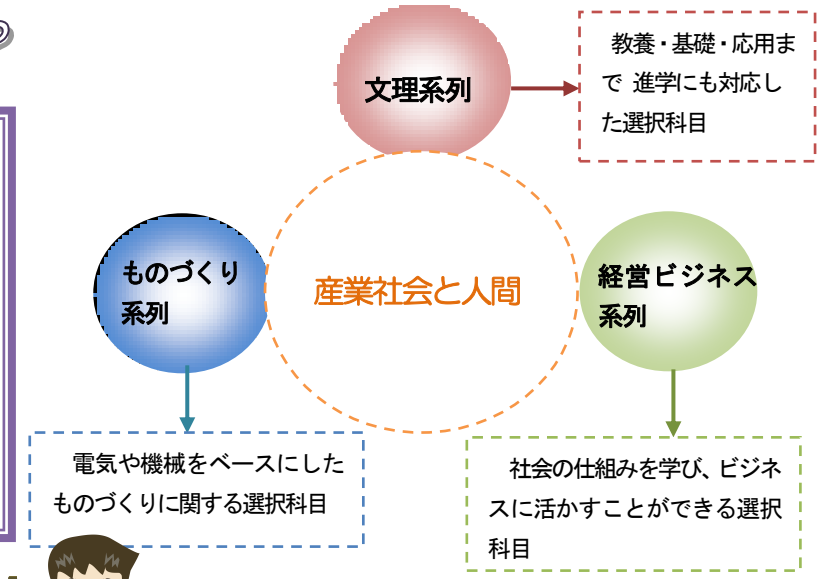
蘇南通信

2011 年度 第５号 11.12.20〒399-5301 木曽郡南木曽町読書 2937-45 TEL0264(57)2063 FAX(57)1009
ホームページ http://www.nagano-c.ed.jp/sonan-hs/ E-mail sonan-hs@nagano-c.ed.jp

総合学科って何ですか？

総合学科では、１年次は全員が共通科目を学び、２年次３年次では、自分の進路実現に必要な科目を選んで学びます。科目を選択する際には、自分の進路への意識の高さが求められるため、１年次で「産業社会と人間」という総合学科に特徴的な科目を履修します。

２年次以降は、多くの選択科目が用意されており、科目選択の目安となるように、科目の選択グループごとに系列を設けています。本校には文理・経営ビジネス・ものづくりの３つの系列があります。



自分の**進路**に合わせた、**勉強が選択**できるんだ！

蘇南Q&A

Q：総合学科と、普通科・商業科・電気科は違うのですか。

A：総合学科は進路希望により、自由に科目を選択します。とはいえ学ぶ内容に方向性が必要です。そこで、選択のモデルとして「文理」・「経営ビジネス」・「ものづくり」の３つの系列を用意しました。系列の科目をそのまま選択すると、今までの普通科・商業科・電気科と同等の内容の学習・資格取得ができます。

Q：大学の経済学部を出て、将来は経理の仕事をしたいと思っているのですが、将来のために、普通科目だけでなく、簿記の授業を受け、資格も取りたいのですが可能ですか。

A：はい可能です。これこそが総合学科の特長です。従来は学科の枠を越えて科目を選択できませんでしたが、総合学科は系列の枠を越えて進路にあわせた科目選択が可能です。

例：ものづくり系列で勉強したいが、外国へ行くことも考え、英語も多く学びたい。→ものづくり系列の科目中心＋英語の授業

例：専門学校へ進学し、調理師の免許を取り、自分のお店を持ち経営したい。→文理系列の授業中心＋簿記の授業

Q：将来の進路を見据えた科目選択は、高校の低学年でできるでしょうか。

A：科目選択に当たっては担任の先生を中心に、保護者とも相談しながら個人個人きめ細かく指導します。１年の後半から３つの系列の内、一つの授業を選択し、自分との相性を見ながら２年次になって系列の変更も十分可能です。

Q：総合学科は進学や就職には対応していますか。

A： はい。補習・サテライト授業などを行い進学にも十分対応します。推薦入学についても系列の科目を系統的に学んで、従来の専門学科の推薦制度を利用できます。また就職はこの十年以上、１００パーセントの決定状況です。

平成２４年度入学者選抜方法が決定しました。ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

第46回　合唱コンクール　開催！

2年A組優勝おめでとう！

10月25日に南木曽町体育館で第46回合唱コンクールが行われました。当日も朝から歌声が聞こえ準備は万端な様子。

第一部はクラス対抗の合唱。全クラスの中でも二学年がひと際素晴らしい演奏を聞かせてくれました。第二部では有志の発表が行われ、職員・選択音楽の生徒が歌声を披露。今年は、三学年の保護者の方々も参加しました。保護者の方のあたたかいメッセージの後、三学年の今までの軌跡が映像として流れ、「見上げてごらん夜の星を」を心あたたかく歌っていただきました。

今年度の優勝は、２年Ａ組の「COSMOS」。クラス一丸となり、見事優勝を飾りました。

郷土料理に舌鼓。
自分が知っている郷土料理はいくつあったのでしょうか？

教えていただきながら一つ一つ作業をこなします。
中には少し包丁の使い方が怪しい生徒も…

今日のメニュー
けんちん汁
ぜんまいの白あえ
いものころ煮

高校生のための食支援講座

10/26 に今年も県木曽保健福祉事務所による高校生のための”食支援講座”が二日間に分けて蘇南高校で開かれました。一日目は郷土料理に触れ、実際に試食。二日目は推進員の方々に教わりながら、実際に郷土料理を作りました。

自分が作った故郷の伝統の味に生徒は大満足のようでした。

総合研究発表　校内発表＝文理系列＝

12/2 に三学年の総合研究発表会校内発表会が行われました。文理系列の生徒は３年間の総合学科の総括として一人ひとりがテーマを持ち、研究してきました。研究テーマは実に様々。「カルシウムを多く摂れるデザートを作る」や「お笑い芸人から会話術を学ぶ」等、タイトルから興味をそそられます。大勢の前で発表することを、これまで何度も経験してきた成果もあり、とても聞きとりやすい良い発表でした。

12/16 に総合学科一期生の総合研究発表会が開かれました。文理・ビジネス・ものづくりと３年間の総括として素晴らしい発表を披露してくれました。その様子は次回の蘇南通信でお伝えしようと思います。お楽しみに！